

テーマ：広島で“すむ”動物たち

広島県内に暮らす動物たちを取り上げた資料を御紹介します。

新着案内

『くうとしの：認知症の犬しのと介護猫くう』

晴／著，辰巳出版，2019【H64/ハル1197】

保護犬しのは、10歳を超える高齢犬。著者の自宅で猫たちと一緒に暮らしていましたが、徐々に認知症の症状が現れ始めます。だんだん身体が動かなくなるのを、最期まで「介護」したのは、保護猫のくうでした。2匹が寄り添って暮らす様子を写した写真は、優しさに溢れています。

こちらも…

『夢：YUMENOSUKE』

佐藤美由紀／著，双葉社，2016【H369/サトミ1167】

殺処分寸前だった1匹の子犬が、「夢之丞（ゆめのすけ）」と名付けられ、神石高原町にある訓練所で、災害救助犬としての訓練を受けることとなります。夢之丞が平成26年に発生した広島土砂災害をはじめ、国内外の災害救助現場で活躍するまでの成長記録です。巻末には、広島での犬の殺処分ゼロを目指す「ピースワンコ・ジャパン」プロジェクトが紹介されています。

『知っとる？動物のこと：続・ずっこミ』

南方延宣／他著，広島市みどり生きもの協会，2018【H48/ミナ1187】

広島市安佐動物公園の職員による、飼育にまつわる漫画とエッセイ集。オオサンショウウオの調査のために危険な夜の川へ入る、肉球がないレッサーパンダの足型をとるのに一苦労するなど、飼育員ならではのエピソードが満載です。

『うさぎ島：会いに行けるしあわせ動物』

福田幸広／写真，日経ナショナルジオグラフィック社，2015【H74/フク11157】

竹原市の沖合にある大久野島は、別名「うさぎ島」と呼ばれ、約700匹のうさぎが暮らしています。うさぎのくつろぐ姿や毛づくろいの様子、「こうさぎデビュー」等、愛くるしい写真のオンパレードです。「しあわせ動物写真家」を名乗る著者独特のアングルが、うさぎの魅力を伝えています。

※【 】は、広島県立図書館の請求記号です。

広島県立図書館（令和2年7月）

郷
土
資
料
紹
介